

## 大阪府消費生活センター 5月の相談件数（速報値）

相談件数 707 件（対前月比 5.2%減、対前年同月比 6.0%減）

### 全体 上位5件

順位	相談内容	相談件数
1位	健康食品	45 件
2位	化粧品	40 件
3位	賃貸アパート・マンション	35 件
	移動通信サービス	35 件
5位	インターネット接続回線	17 件

- ・ 1位の「健康食品」、2位の「化粧品」をあわせると、85件のうち70件が「定期購入」に関する相談で、50歳以上の中高年からの相談が8割でした。「お試しかけのつもりで注文したところ、定期購入になっていた。解約するために電話をしてもつながらない」などの相談が多く寄せられました。
- ・ 3位の「賃貸アパート・マンション」については、退去時の原状回復に関するトラブルが12件でした。その他、入居時の契約トラブルや居住中のトラブル（設備不良、水漏れ等）の相談が寄せられました。

### 65歳以上 上位5件

順位	相談内容	相談件数
1位	健康食品	16 件
2位	化粧品	15 件
3位	移動通信サービス	9 件
4位	金融関連サービスその他	6 件
5位	工事・建築	5 件
	電気	

- ・ 「全体」、「65歳以上」とともに3位の「移動通信サービス」についての相談が増加しています。心当たりのない海外からの不審な電話に関することや、大手通信関連会社を騙る身に覚えのない電話料金請求に関する相談でした。電話番号の最初に「+」の付いている番号は国際電話なので、知らない番号からの電話であれば掛けなおさないようにしましょう。